スポーツ報知 企画紙面

新企画スタート　箱根への道　×　さいたま報知

川越の地で鍛え 東洋大

県内に拠点置く大学駅伝チームを紹介

トップアスリート輩出

第1弾

さいたま報知では、埼玉県内に拠点を置く大学駅伝チームを順次、特集します。埼玉から「箱根への道」。第1回は箱根駅伝優勝4回、今年の第97回箱根駅伝で3位だった東洋大です。

箱根駅伝V4回

「2代目・山の神」柏原竜二。大学駅伝界最強の双子ランナー設楽啓太・悠太、東京五輪マラソン代表の服部勇馬と弟の弾馬。箱根駅伝2区で史上初めて1時間5分台で走破した東京五輪1万㍍代表の相沢晃。箱根路で活躍した東洋大ランナーは4年間、埼玉・川越市の選手寮でチームメートと共に暮らし、グラウンドで走り続け、力を蓄えた。

また、長距離選手だけではなく、100㍍で日本人初の9秒台をマークした桐生祥秀や東京五輪男子競歩20㌔代表の池田向希、同50㌔代表の川野将虎も東洋大陸上競技部出身選手も川越の地で鍛え、トップアスリートに成長した。

東洋大駅伝チームが川越市で刻んだ歴史は長い。戦後、練習拠点は東京・文京区の白山キャンパスだった。1930年に入学した小山内勇吉さんは「当時、東京には多くの焼け野原が残っていた。そんな中で都電と競走していましたね」と回想する。

その後、日本は高度経済成長期へ突入。都内の道路事情は急激に悪化した。陸上競技部は、より良い練習環境を求め、川越市に拠点を移した。1960年、川越キャンパスが正式にオープンする1年前、敷地内に練習場と選手寮が建設された。「掘っ立て小屋のような選手寮だったけど、そこを拠点にみんな一生懸命に練習したもんだよ」と1961年度卒業の福田太加之さんは懐かしそうに話す。

以来、今に至るまで62年。川越には東洋大歴代の選手の汗と涙が染み込んでいる。

1995年から99年まで選手として走り、2009年からチームを指揮する酒井俊幸監督は語る。「私が学生の頃は土トラックでしたが、今は全天候型のトラックに変わりました。その一方、今でも周辺には小畔川や入間川の土手など走りやすい環境があります。地域の方々は温かく応援してくれています。川越は本当にいいところです」

2009年の第85回箱根駅伝で東洋大は出場67回目にして初優勝。大会史上、最も長い時間をかけて頂点に立った。その後の13大会で優勝4回、3位以内が12回と抜群の安定感を誇る。これからも東洋大ランナーは川越から箱根の頂点、さらには箱根の山より高い山を目指して走り続ける。

（竹内　達朗）

2014年12月13日当時、（前列左から）田口雅也主将、服部勇馬、服部弾馬を先頭に集団走で汗を流す東洋大の選手ら（東洋大川越キャンパス）

全天候型トラックに加え河川の土手など走りやすい環境で成長

さいたま報知は読売新聞の販売店からお届けしています

PR

先着100名様限定　商品代金返金保証つき

薬用シワ改善ゲル「リンクルホワイトEX」（50g）　医薬部外品

ほうれい線実感プラン 初回限定価格

（お一人様1個限り）

通常価格 7,480円 ▼

1,900円（税込2,090円）　送料無料

なんと！今だけ72% OFF!

※「ほうれい線体感プラン」は1ヶ月に1回ずつお届けする特別頒布プランです。1,900円（税込2,090円）でのお届けは初回のみとなります。2回目以降は4,200円（税込4,620円）。送料無料。いつでも解約が可能です。※商品代金返金保証の適用期間は、発送日から20日間以内とさせていただきます。

お申し込みはお電話かFAX・ハガキで！

※定員になり次第締切

通話料無料　0120-966-342

9時～21時（年中無休）ケータイでもOK　※年末年始を除く。

FAX048-708-6467　24時間受付 年中無休　優待番号 RV62

FAX・はがきの場合は【優待番号】【名前（ふりがな）】【郵便番号】【住所】【電話番号】【生年月日】をご記入ください。送り先：〒336-0021　埼玉県さいたま市南区別所3-38-29　和田3ビル2階　プレシア製薬お客様受付センター　リンクルホワイトEX係

株式会社プレシア製薬　〒156-0053 東京都世田谷区桜3-9-21

●送料無料（通常は全国一律550円（税込））●代金支払い：代金引換（コンビニにて、NP後払い手数料無料）。●商品は、ご注文後、一週間程度でお届け。ます。●返品は未開封商品に限り、商品到着後8日以内（返送料・着金前払手数料はお客様負担）。ご返送先へ電話にてご連絡ください。●ご返品ご希望の際は前日までに電話にてご連絡ください。●ご返品ご希望の際は前日までに電話にてご連絡ください。●ご返品ご希望の際は前日までに